



大新だより

令和6(2024)年2月1日
和歌山市立大新小学校

大新教育「よりよい子どもを育てる アンケート」集計結果について



暦の上での春は間もなくだというのに、先日は和歌山市にちらちらと雪が舞っていました。また、和歌山市内では新型コロナウイルスやインフルエンザの感染者が再び増えてきています。子供たちは、そのような中でも寒さや感染症をものともせず元気に登校し、寒さならではの自然の営みに親しんでくれています。

さて、昨年12月に大新教育「よりよい子どもを育てるアンケート」を実施いたしました。お忙しい中ご回答いただき、ありがとうございました。集計結果を裏面に掲載していますので、ご覧ください。

学校では、この保護者アンケートと、子供たちへの「よりよい大新小学校をつくるためのアンケート」の2種類を実施いたしました。

保護者アンケートの「A:小学校全体について」は、概ね肯定的な評価をいただいております。しかし、「いじめをなくす学校・学級づくりへの取組」については、14%の方が「わからない」と感じておられます。特別の教科道徳や学級活動、総合的な学習の時間(※)、また外部講師の方による出前授業などの取組を今まで以上にわかりやすく学校だよりや学級だより、ホームページ、懇談会などを通して情報発信してまいりたいと思います。さらには、ご家庭との連絡を今まで以上に密接に行い、次年度に向け、より開かれた学校づくりに取り組んでいきたいと思っております。

「B:お子様について」も、概ね肯定的な評価をいただきました。しかし、「だれにでもあいさつができる」の項目に、まだ課題がみられます。児童アンケートでも同様、「まあそう思う」の割合が、「そう思う」を上回っていました。今年度の学校だより4月号で披露させていただいた本校の実践目標である大新小学校の「あ(挨拶)い(命)う(運動)え(笑顔)お(思いやり)」。挨拶することのすばらしさを折に触れ、繰り返し子供たちに伝え続けていきたいと思っております。

今年度の保護者アンケートと子供のアンケート共通して、「学校での出来事をよく話す」が増えている結果は、とても嬉しく思っています。学校での出来事をご家庭でお話いただくことでお子様とのコミュニケーションがより豊かなものとなり素敵な時間をお過ごしいただけるよう、学習課程の創意工夫に教職員一同、努めてまいりたいと思っております。

今後も、子供一人一人に寄り添い、子供たちが楽しく学び楽しく活動できる学校を目指してまいります。引き続き、本校の教育活動にご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

※総合的な学習の時間…3年生から6年生は週2時間、学校が地域や学校、児童の実態等に応じて、教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習をする時間です。現在、3月3日(日)開催の「感謝のつどい」に向けて、特に5年生は企画や準備にがんばっています!当日、皆様のご来校をお待ちしております。